



学校だより

7月号【家庭数】

平成29年 6月30日
文京区立根津小学校



「もったいない」と感じる心を

副校長 高橋 正明

梅雨の折、皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、去る24日(土)に行われました『教科の授業地区公開講座』には多数の方々にご来校賜り厚くお礼申し上げます。今年度は本校の特色の一つとして、全ての学習の基盤となる「学びに向かう力」の育成を、生活科・総合的な学習の時間を研究領域として取り組んでいることを早い時期にお知らせする目的で、6月に設定させていただきました。授業をごらんになって、本校が、主体的な学びや対話的な学び、深い学びという視点で学習・指導に努めていることをご理解いただけたら幸いです。

話は変わりますが、皆さんは「もったいない」という言葉をご存知のことと思います。私も子供の時、無駄づかいをしていたら「もったいない!」、お米を一粒でもお茶碗に残そうものなら「お百姓さんが一生懸命作ってくれたものだよ、もったいないでしょ。」と親から言われた記憶があります。この「もったいない」という言葉ですが、2004年にノーベル平和賞を受賞したワンガリー・マータイさんが2005年に日本を訪れた際に感銘を受け、その後環境を守る世界共通語として広められるきっかけになりました。今では世界中に3R+R (Reduce、Reuse、Recycle+Respect(尊敬))の意味をもつ言葉として広められているそうです。

さて、2020年にオリンピック開催を控えた東京都ではこの言葉を使って「もったいない」大作戦と称して、環境に配慮した取り組みをすべての公立学校において強化し、根付かせていこうというプロジェクトを立ち上げました。東京がまだ江戸と言われていた時代、東京は世界にも類を見ないECOな都会であったといわれています。街角にはゴミひとつなく、一人一人が物をたいへん大切に扱って、限りある資源を無駄なく使っており、ごみ自体がなかったそうです。江戸に住む人たちが物や物を作ってくれた人に対して感謝の気持ちをもっていたからなのでしょう。根津小学校としてはこれまでもペットボトルキャップの回収や5年生でCO2アクション月間、古紙の再資源化など行ってきました。しかし3.11の直後には節電などの環境への取組により意識は高まりましたが、徐々にそうした意識が薄れていっている傾向にあるのも事実です。こまめに電気器具のスイッチを切る取組や、物を大切にする態度を養っていくなどの指導を続けていき、自分ができることを具体的な行動目標に設定して子供たちが自主的に活動できるようにしていきたいと考えています。またご家庭におかれましても夏休みの自由研究の課題にしてみることや各家庭での自主的な実践として取り組めるようにするなど、ご協力をお願い致します。

根津
短
信

○4日(火)は高学年保護者会、6日(木)は低学年保護者会です。是非、ご参加ください。
○7月21日(金)から、本校校舎の快適化工事が始まります。



7月の学校行事予定

○生活目標 暑さに負けず元気よくすごしましょう。

●保健目標 夏を元気にすごそう。

1	土			17	月		海の日
2	日			18	火	全朝	着衣泳
3	月	読書	安全指導 委員会④ 根津っ子班活動(中休み)	19	水	全朝	給食終わり 大掃除(5校時)
4	火	変A 全朝	保護者会(高) 岩井説明会(6)	20	木	B4	終業式
5	水	B4		21	金		夏季休業日始め 夏季水泳指導①
6	木	変A 読書	保護者会(低) こころの劇場(6年・午後) 学力調査(5年)	22	土		
7	金	児集	七夕集会 がん教育(6年 5校時)	23	日		
8	土			24	月		夏季水泳指導②
9	日		育成会どじょうつかみ大会(10:00~)	25	火		夏季水泳指導③
10	月	読書	クラブ④ 水道キャラバン(4年) ハッピーランチ	26	水		
11	火	全朝	避難訓練	27	木		
12	水	変A		28	金		
13	木	音朝	ハッピーランチ(8月分)	29	土		
14	金	読書	わくわくランチ 学びの教室指導終了	30	日		
15	土			31	月		
16	日						

(※全朝:全校朝会を火曜日に実施します。体朝:体育朝会, 音朝:音楽朝会, 児集:児童集会, ハッピーランチ:お誕生日給食のことです。)

8月の主な学校行事予定

2日(水) 岩井臨海事前健診

4日(金)~6日(日) 岩井臨海学校(6年)

31日(木) 夏季休業日終



ハヶ岳移動教室での成長

5年担任 石井頌子・小林凌太

6月19日から21日までの3日間、5年生はハヶ岳移動教室に行ってきました。「自然」「仲間」「自立」の3本柱をめあてに、いろいろな活動に取り組みました。

1日目の飯盛山登山では、天候に恵まれ登山には暑いくらいの中、互いが助け合ったり、「あとちょっとだよ!」「がんばろう。」などと声をかけ合ったりしながら登りました。クラスも性別も関係なく、お互いを思いやる姿は素晴らしく、全員が登頂できたときの子供たちの表情は忘れることができません。

2日目のほうとう作りでは、班で協力して、素早く、美しく、おいしくほうとうを作りました。午後はJAハヶ岳牧場での搾乳体験や子牛とのふれあいを通して、生命について考えました。間髪入れず様々な体験をした满身創痕の体で、最後は100m走を走りました。真っ直ぐの100mは、初めて見る子供たちには驚愕の長さでした。それでも、弱音を一切はかずに、最後まで全てのことに全力で取り組むことができたのは、この子たちの素晴らしいところでした。

夜の活動は、1日目はキャンプファイヤー、2日目はナイトウォークでした。キャンプファイヤーは、炎を囲んで、炎の暖かさや明るさを感じながら、ゲームを楽しんだり思いっきり踊ったりしました。ナイトウォークは、2人組や3人組で勇気を振り絞って、暗い道程を進みました。きっと友達同士の絆も深まったことでしょう。

最終日は雨が降り、予定していた野菜収穫体験はできませんでしたが、その時間で農園の方の話を真剣に聞き、教科書だけでは得ることのできない、「生の声」をたくさん聴くことができました。お話をよく聴いて、様々な質問をしている子供たちは立派でした。

この3日間で、子供たちは大きく成長しました。それは、子供たち一人一人が、全力を出し切ったからです。私たちはそんな子供たちを見ていて、大変嬉しく感じ、誇りに思いました。ハヶ岳で得たことは、これからの学校生活に大いに生かしてほしいと思います。